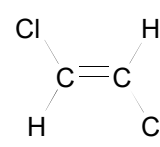


# 化学物質の環境リスク評価 修正情報

令和3年5月11日 環境リスク評価室

※「化学物質の環境リスク評価」の冊子・電子ファイルにおいて、以下の巻・頁に誤記がございます。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご確認の上、ご覧頂きますよう宜しくお願いいたします。

なお、HPには訂正したものを掲載しております。

巻	物質名	頁	修正箇所	記載(誤)	正
2	トリクロロエチレン	474	【生物濃縮係数(BCF)_試験濃度】	70 g/L 7 g/L	70 µg/L 7 µg/L
3	塩素化パラフィン(長鎖)	819	【暫定無毒性量等の設定】	0.71 mg/kg/day	7.14 mg/kg/day
4	テトラヒドロ-1,4-オキサジン	168	「(2)物理化学的性状」の表	解離定数(pK <sub>b</sub> )	解離定数(pK <sub>a</sub> )
5	2,4-ジニトロトルエン	7	【12 2,4-ジニトロトルエン 一般環境大気_予測最大ばく露量及び濃度】	0.00099 µg/m <sup>3</sup>	0.0011 µg/m <sup>3</sup>
5	<i>m</i> -トルイジン	429	「(2)物理化学的性状」の表	解離定数(pK <sub>b</sub> )	解離定数(pK <sub>a</sub> )
5	<i>p</i> -トルイジン	445	「(2)物理化学的性状」の表	解離定数(pK <sub>b</sub> )	解離定数(pK <sub>a</sub> )
5	シス-1,2-ジクロロエチレン	569	【構造式】		
7	<i>o</i> -フタロジニトリル	iii,734 及び 738	物質名(物質番号:38)	<i>o</i> -フタジニトリル	<i>o</i> -フタロジニトリル
7	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	111	「表 1.1 製造・輸入数量の推移」平成19年度	2,603	2,696
7	<i>p</i> -ニトロトルエン	414	2行目 「吸入ばく露の予測最大ばく露濃度は、一般環境大気 のデータから 0.00087 µg/m <sup>3</sup> 程 度となった。」	0.00087	0.0029
7	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	656	「(1)分子式・分子量・構造式」CAS番号	26027-38-3 ( <i>o</i> -体)、 51938-25-1 ( <i>p</i> -体)	51938-25-1 ( <i>o</i> -体)、 26027-38-3 ( <i>p</i> -体)
10	<i>N</i> -ニトロソジメチルアミン	6	「健康リスク初期評価結果一覧(17物質)」【経口_飲料水_過剰発生率】	1.6 × 10 <sup>-6</sup>	6.1 × 10 <sup>-6</sup>

巻	物質名	頁	修正箇所	記載(誤)	正
13	スチレン	7、9 及び 230	表・本文中の吸入曝露に係る無毒性量等及び MOE 無毒性量等 2 mg/m <sup>3</sup> MOE 140 MOE 3 MOE 12	2 mg/m <sup>3</sup> 140 3 12	3.4 mg/m <sup>3</sup> 240 5 21
		220～ 229	曝露情報で補正した ppm の値を mg/m <sup>3</sup> に換算した値を訂正	(例) 107 ppm (263 mg/m <sup>3</sup> )	(例) 107 ppm (456 mg/m <sup>3</sup> )
16	有機スズ化合物 (ジブチルスズ化合物)	248	公共用水域の淡水域の予測環境中濃度(PEC)	0.04	0.004
19	2-エチルヘキサン酸	9、87	予測無影響濃度(PNEC)	155 µg/L	156 µg/L
19	2-エチルヘキサン酸	84、86 ～87	甲殻類等 <i>Daphnia magna</i> の毒性値	15,500 µg/L	15,600 µg/L
19	2-エチルヘキサン酸	87	1行目 「(藻類等の 427,000 µg/L)」	427,000 µg/L	430,000 µg/L
19	ジエタノールアミン	107	「表 4.1 水生生物に対する毒性値の概要」甲殻類等 <i>Ceriodaphnia dubia</i> / <i>affinis</i> のエンドポイント/影響内容	EC <sub>50</sub> IMM	LC <sub>50</sub> MOR

問い合わせ先:

環境保健部環境リスク評価室

TEL: 03-3581-3351(内線6346)

FAX: 03-3580-3596